

試験経過記録

区分 自主

武雄 富林署

伐採前プロット内林況

プロット	樹種	本数	材積	平均径級	平均樹高	備考	プロット	樹種	本数	材積	平均径級	平均樹高	備考	
No.1	アカガシ	12 [*]	1.140 ^{m³}	14	10		No.3	アカガシ	6	0.580	14	12		
	シラカシ	2	0.150	14	8			タブ	3	0.780	22	12		
	タブ	8	1.910	22	10			ネズミモチ	5	0.036	4	7		
	シバキ	4	0.026	6	5			ヤブニッケイ	2	0.044	7	6		
	イヌガシ	1	0.004	4	5			サザンカ	2	0.030	8	7		
	ネズミモチ	4	0.021	4	6			広Ⅱ	2	0.150	14	10		
	サザンカ	2	0.015	6	6			計	20	1.620				
	ヒサカキ	2	0.008	4	5									
	広Ⅱ	13	0.305	8	7			No.4	アカガシ	1	0.060	12	10	
	計	48	3.579						シラカシ	9	0.379	10	9	
No.2	アカガシ	5	0.910	18	11		タブ		7	0.518	12	9		
	シラカシ	1	0.020	8	7		カエデ		3	0.026	5	7		
	タブ	2	0.590	24	14		シバキ		1	0.004	4	5		
	シバキ	5	0.031	4	5		イヌ		1	0.020	8	8		
	ネズミモチ	2	0.014	6	6		ヤブニッケイ	3	0.063	8	6			
	ヤブニッケイ	13	0.199	6	6		ネズミモチ	4	0.033	6	6			
サザンカ	5	0.026	4	5		ヒサカキ	1	0.004	4	4				
クロキ	1	0.030	10	7		シキミ	2	0.020	6	7				
広Ⅱ	1	0.120	16	12		ネムキ	1	0.150	18	12				
計	35	1.940				マユミ	1	0.004	4	4				
						計	34	1.281						

記載要領 1. 調査結果及び考察を記入する。
 2. 状況写真は別途整理する。

様式 2

昭和 6 2 年 度 技 術 開 発 実 施 報 告 書

課 題	継続・新規別		担 当 課	開 発 箇 所	期 間	昭 和 61 年 度 ~ 昭 和 70 年 度
	継続					
	経 常・特 別 別	経 常				
指示・自主別		自 主	昭 和 62 年 度 実 施 計 画		評 価 お よ び 普 及 計 画	
全 体 計 画		実 施 報 告		昭 和 61 年 度 実 施 結 果 を 記 入 の 事 実		昭 和 62 年 度 実 施 計 画
1. 試験地設定 (1) プロット設定		1. 試験地設定 (1) 伐採前の試験地小径木保残4所(0.25ha)小径木保残皆無4所(0.25ha)を設定。		1. 伐採後プロット内林況調査 (1) 樹種別本数樹高調査 (2) 稚樹発生調査 (3) フズ発芽侵入調査		1. 伐採後プロット内林況調査 (1) 樹種別本数樹高調査 (2) 稚樹発生調査 (3) フズ発芽侵入調査 (4) 疎密度調査
2. 調査事項 (1) 成長量調査 (2) 疎密度調査		2. 伐採前林況調査 3. 小径木の保残指導要請 4. プロット設定 (1) 伐採前の試験地小径木保残4所内と小径木保残皆無4所内にプロット(0.01ha 10m x 10m)を各2ヶ所計4ヶ所設定。				
		5. プロット内林況調査				

(様式4)〜1

課題

広葉樹天然更新施策について

1. 伐採後プロット内林況調査

(1) 樹種別本数樹高調査

プロット	樹種	本数	材積	平均径級	平均樹高	備考	プロット	樹種	本数	材積	平均径級	平均樹高	備考
no.1	ツバキ	4	0.028	5	6	胸高径 4cm上を 調査	no.3						
	ネズミクサ	3	0.013	4	5								
	計	7	0.041										
							no.4						
no.2	サザンカ	1	0.005	4	6								
	ツバキ	4	0.023	5	6								
	計	5	0.028										

(2) 稚樹発生調査

表-1のとおり。

(3) フズ発芽・侵入調査

発芽侵入なし。

(4) 疎密度調査

有用樹種が稚樹のため、現段階では調査の必要なし。

2. 考察

当該箇所は、搬出完了(62年5月)後約10ヵ月経過している。有用樹種については、ぼう芽による稚樹発生が多く見られる。又、落葉低木(アオモジ、フサギ、ヤブムラサキ等)の侵入については、小径木保残~~皆無~~箇所により多く見られた。

現況は、小径木保残~~箇所~~と保残~~皆無~~^他箇所の林相状況の相違が見られ、小径木保残箇所の天然林早期成林の期待が予想される。

なお、今後さらに有用樹種の稚樹発生が期待されるので、引き続き林況調査を要する。

試験経過記録(その2)

武雄 林著

表-1 種樹発生調査表

プロット 樹種	プロット No.1			プロット No.2			プロット No.3			プロット No.4		
	本数	平均樹高 ^{cm}	本数 ^{本数}	本数	平均樹高 ^{cm}	本数 ^{本数}	本数	平均樹高 ^{cm}	本数 ^{本数}	本数	平均樹高 ^{cm}	本数 ^{本数}
イヌガヤ				1	50	100	4	10	400	4	20	400
アカガシ	52	37	5,200	10	18	1,000	33	53	3,300	48	31	4,800
シラカシ	9	33	900	7	30	700				5	20	500
アヲカシ	11	40	1,100									
イタジイ										5	18	500
アブ	61	66	6,100	31	49	3,100	36	64	3,600	48	33	4,800
イヌ										7	29	700
ツバキ	1	34	100	11	35	1,100	5	30	500	40	26	4,000
カエデ										6	30	600
イヌカシ	11	51	1,100	125	38	12,500	53	26	5,300	52	23	5,200
サザンカ	57	86	5,700	82	49	8,200	125	35	12,500	44	25	4,400
フ口キ				3	50	300	18	23	1,800	23	25	2,300
ネズミモチ	29	60	2,900	37	38	3,700	56	50	5,600	46	29	4,600
メグニツケイ	47	46	4,700	4	50	400	3	33	300	1	50	100
その他	160	42	16,000	197	38	19,700	227	27	22,700	455	19	45,500
計	438		43,800	508		50,800	560		56,000	784		78,400

記載要領 1. 調査結果及び考察を記入する。
2. 状況写真は別途整理する。

狀 況 寫 真

區 分 自 主

武 雄 營 林 署

(樣 式 6)

伐 採 後
全 體 寫 真

小 徑 木 保 殘 區 域
面 積 0.25 HA

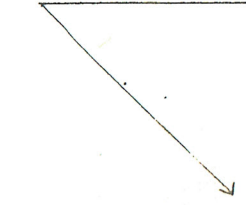


小 徑 木 保 殘 皆 無 區 域
面 積 0.25 HA

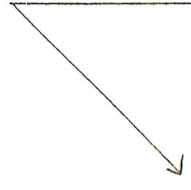
(様 式 6)

小径木保残区域内プロット写真

プロット No.1 面積 0.01 HA



プロット No.2 面積 0.01 HA



状 況 写 真

区 分 自 主

武 雄 營 林 署

(様 式 6)

小径木保残皆無区域内プロット写真

プロット no. 3 面積 0.01 HA



プロット no. 4 面積 0.01 HA

